

■荒畑寒村 社会主義者。忌憚のない発言と潔癖性が障害になるも、漢語調の文体と豊かな表現で読者を魅了。

あらはたかんそん

国民之友始・1887＝ 横浜廓内の台屋の子として生まれ、農家に養子に出されたが、

帝国憲法発布1889＝ 2歳：

足尾鉍毒始・1891＝ 4歳：養家に妹が生まれたため、実家に引き戻され、大きな傷を受ける。以後、廓内の生活。

郡司千島探検1893＝ 6歳：姉とともに廓外の小学校に入学、寺子屋式の教育を受ける。

日清戦争始・1894＝ 7歳：

白馬会・・・1896＝ 9歳：

八幡製鉄始・1897＝10歳：姉とともに尋常科を卒業、高等科に転じ、

田中正造直訴1901＝14歳：やっと小学校を卒業、海軍を志願したが果たさず、

教科書疑獄・1902＝15歳：キリスト教の洗礼を受け、外国商会のボーイ、

日比谷公園・1903＝16歳：造船工見習職工をする。堀利彦・幸徳秋水連名の「万朝報」の「退社の辞」に感激、社会主義者となる。

日露戦争始・1904＝17歳：*社会主義協会に入会、横浜平民結社創立。

日露戦争終・1905＝18歳：社会主義宣伝のために東北伝道行商を行う。東京では竹久夢二らと同居・自炊。

満鉄発足・・・1906＝19歳：刀折れ矢尽きて、平民社を解散。紀伊の牟婁新報の記者となり、菅野スガと出会い、恋愛し、

韓国反日暴動1907＝20歳：結婚。社会党機関紙としての日刊「平民新聞」の創刊に参加。政府の谷中村強制収用に憤慨して「谷中村滅亡史」を出版(即日発禁となるも、後世に残る名著となった)。同居していたスガの妹が死去。

アヲキ創刊・1908＝21歳：赤旗事件で検挙され、獄中で外国語を独学する。この間、離婚。

韓国併合・・・1910＝23歳：出獄。菅野スガと幸徳秋水の恋愛問題に煩悶し郭通いなどしているうち、大逆事件からは免れた。

明治天皇没・1912＝25歳：この頃、郭の薄幸の新造を引取り、妻とする。大杉栄と「近代思想」を創刊。

大正政変・・・1913＝26歳：大杉栄とサンヂカリズム研究会を結成。

第一次大戦始1914＝27歳：「シヨウ警句集」。大杉栄と月刊「平民新聞」を創刊。

小説、文芸評論で活躍。石川啄木の社会主義思想をいち早く論ずる。

ベルリン条約・1919＝32歳：日本労働新聞の編集など、以降、大阪、京都で、3年間労働運動を指導し、

原敬首相暗殺1921＝34歳：3度目の京都入獄、

関東大震災・1923＝36歳：「光をかゝぐる者」。日本共産党成立をコミンテルンに報告するためにモスクワへ行く。

護憲三派圧勝1924＝37歳：「赤露行」「ロシアに入る」、

円本時代始・1926＝39歳：「労働組合読本」「労働組合の国際的統一運動」。共産党事件で4度目の入獄。

金融恐慌・・・1927＝40歳：「石油帝国主義—石油の国際的争奪」。堀利彦、山川均らと「労農」創刊。

共産党事件・1928＝41歳：*共産党を除名され、以後、沈潜。

満州事変・・・1931＝44歳：

五一五事件・1932＝45歳：

日中戦争始・1937＝50歳：人民戦線事件に連座し、検挙される。

この頃、妻は脳溢血のため半身不随となっていた。

日米開戦・・・1941＝54歳：妻が病苦に苦しみ、貧困と窮乏のどん底の中、死去。

戦時中は、翻訳に参加したり、出版社で校正などをしながら生計をつなぐ。

敗戦・・・1945＝58歳：人民叢書「敗戦日本の青年に訴ふ」。敗戦後、労働組合運動再建、日本社会党結成に尽力し、

新憲法公布・1946＝59歳：「寒村自伝」。戦後第1回総選挙にも当選したが、

極東裁判判決・1948＝61歳：「日本社会主義運動史」。*社会党を脱党。以後、運動の第一線から身をひき、主に文筆活動をする。

朝鮮戦争始・1950＝63歳：「共産党をめぐる人々」、

独立回復・・・1951＝64歳：「左の面々—人物月旦」、

自衛隊発足・1954＝67歳：「ひとすじの道」、

美智子妃・・・1959＝72歳：

安保闘争・・・1960＝73歳：岩波新書「ロシア革命運動の曙」、

TV宇宙中継始1963＝76歳：「谷中村滅亡史」、

60年代後半には、ソ連派傾向を鮮明にした向坂逸郎と社会主義協会を強く批判した。

霞ヶ関どろろ・1968＝81歳：

全共闘どろろ・1969＝82歳：「反体制を生きて」、

どろろショック・・・1971＝84歳：雨の日文庫「艦底・煤煙の臭い」、

石油ショック1973＝86歳：「平民社時代—日本社会主義運動の揺籃」。

クランブル事件1975＝88歳：「大逆事件への証言」、

田中角栄逮捕1976＝89歳：「寒村茶話」。「荒畑寒村著作集」1～8巻刊行。

・・・1981＝94歳：「平地に波乱を起こせ—公害から」と、*書き続けたが、慢性肺気腫に気管支肺炎を併発して没した。

シリーズ「人間の記録」、「この人どんな人」、「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、